

ひろがり

第 86 号

〒910-0003 福井市松本4丁目8-4
 福井市PTA連合会
 広報委員会
 Tel 0776-26-4058
 Fax 0776-26-4358
 E-mail : fcpta@mx4.fctv.ne.jp
 URL <http://www.fukuicity-pta.com/>

平成30年度活動スローガン

「架け橋としてのPTA」

～子どもたちのために 学校・家庭・地域社会 より一層連携するために～



各ブロック
活動報告

いきいき
事業奨励金
優秀校の紹介

夏休み
プール開放
各校アンケート結果

市P役員
座談会

2018年11月10日(土) ふれあいコンサート

11月10日(土)に、「ふれあいコンサート」をハーモニーホール大ホールで開催しました。来場者は460名で事業開催史上最高！美山中、足羽中、足羽一中、明倫中の吹奏楽部に麻生津小合唱団も加わり、総勢150名での合同演奏は大迫力でした。最後は全員参加で「YMCA」を歌い踊り、感動的でした。



C
ブロック

2018年11月18日(日) 講演会

11月18日(日)、進明中学校体育館において、竹田恒泰氏による講演会を開催しました。「日本を楽しく学ぼう！古事記の精神と国史」と題して、「国史」についてお話いただきました。参加者からは「国史って面白い」「国史を知ること日本人であることの誇りを一層深めることができた」など、多くの感想が寄せられました。



2018年9月29日(土) スポーツ交流事業

9月29日(土)、WAVE40において、Aブロック11校44名が参加してボウリング大会を開催しました。他校の参加者とも交流ができ、「楽しかった」「来てよかった」との声をいただきました。優勝は旭小学校のみなさんでした。

A
ブロック



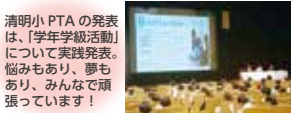
この一年

地区別研修会

6月30日(土)、福井県生活学習館において、「福井県幼・小・中PTA活動地区別研修会」を開催しました。福井大学理事の中田先生による講演会に続いて、清明小学校PTAと松岡中学校PTAの実践発表がありました。



中田先生の講演は、「これからの社会で求められる教育とは。持続可能な社会環境を目指して」



清明小PTAの発表は、「学年学級活動」について実践発表。悩みもあり、夢もあり、みんなで頑張っています！

年次総会

5月13日(日)、福井県自治会館において、「福井市PTA連合会年次総会」を開催しました。平成30年度の新役員・活動方針・活動計画・予算の各案が承認され、橋詰新会長のもと、活動を開始しました。



会長 橋詰直紀



チーム橋詰、学校・家庭・地域を結ぶ「架け橋」を目指します！

2018年8月25日(土) 指導者研修会

8月25日(土)、福井市きらら館において「Bブロック指導者研修会」を開催しました。Bブロック17校の先生、保護者、地域の方々など約100名が参加しました。福井テレビ丸山勝義アナウンサーを迎えて、「災害報道の現状など」の演題でお話いただきました。丸山アナウンサーが東日本大震災の現地取材をした時の経験談など、貴重なお話を聞くことが出来ました。



2018年11月18日(日) 親善スポーツ大会

11月18日(日)、清水北小体育館で毎年恒例「スティックリング大会」を開催しました。各校から180名が参加し、熱く、楽しく、他校の皆様と親睦を深めながらの熱戦となりました。

B
ブロック



2018年9月22日(日) 研修会・母親懇談会

9月22日(日)、鶯公民館において「Eブロック研修会・母親懇談会」を開催しました。

147名の参加をいただき、福井県教育委員会スクールカウンセラーの吉弘淳一先生を迎えて、「子どもとのより良いコミュニケーションの取り方」と題してご講演いただきました。講演終了後、母親同士で意見交換会を行いました。吉弘先生も参加され、疑問に思ったことを質問したりして、話を深めることができました。



2018年11月11日(日) ソフトバレーボール大会

11月11日(日)、川西中体育館にて行われたEブロック恒例のソフトバレーボール大会!約260名が参加して熱戦を繰り広げました。

E
ブロック



2018年8月25日(土) 「謎解き脱出ゲーム」



8月25日(土)、円山小学校体育館において、Dブロック事業「謎解き脱出ゲーム」を開催しました。1チーム3~4人で、地元につながる問題を解きながら3つの部屋を回り、全て回答できれば脱出成功です。少し難しい問題もあり、脱出に成功しなかったチームもありましたが、問題を通して地元のことを考えるよい機会となりました。

当日はとても暑い日で、提供されたかき氷に参加者は大喜びでした。



D
ブロック



平成30年度

福井市 P T A 連 合 会

福井市 P T A 研究大会

1月26日(土)、福井県生活学習館において、「福井市 P T A 研究大会」を開催しました。各校の P T A が抱えるさまざまな課題について、他校との話し合いの中から、解決の糸口を探りました。子どもたちは「もぐもぐ大作戦」に参加して、リゾットを作りました。詳しくは6・7ページをご覧ください。



福井法人会親子 ふれあいステージ

1月19日(土)、フェニックスプラザにおいて、福井法人会主催、「親子ふれあいステージ」が開催されました。税についての勉強に続いて、コメディクラウンサーカスのショーを楽しみました。当日は被災地支援のための図書回収・即売も行われ、収益金57,000円は福井市に寄付させていただきました。



図書回収金は福井市の「不死鳥ふくいふるさと応援寄付」に送られます

市長・教育長と語る会

11月9日(金)、福井市体育館会議室において、「市長・教育長と語る会」が開催されました。市 P 連からの10の質問に対し、市長、教育長からの丁寧な回答をいただきました。

<質問事項>

1. 国体について
2. 災害対策について
3. 夏休みのプール開放について
4. 熱中症対策について
5. 英語教育について
6. 共働き世帯全国1位への対応について
7. 学校の建て替え・合併について
8. 子どもたちの安心・安全について
9. プログラミング教育について
10. 学校区について

質問・回答について、詳しくは市 P 連ホームページをご覧ください。



熱心な質疑応答が行われました。

東海北陸ブロック 研究大会

10月19日(金)・20日(土)、愛知県内各地において、「東海北陸ブロック研究大会 愛知大会」が開催されました。全体会では岩崎由純氏による「子どもの夢を支える『魔法の言葉』」と題した講演会がありました。



アスレチックトレーナー、PEP(ベップ)トークの第一人者として活躍の岩崎氏。PEPトークとは、ポジティブな表現を駆使した、究極のショートスピーチ。ことばの力とその重要性を熱く語られました。よく笑い、よく泣き、心揺さぶられる講演でした。



夏休み プール開放アンケート

大雪による市の財政難で、夏休み中の学校プール開放事業がいったん中止となりました。しかし、「今まで業者委託で行っていた安全管理、水質管理、監視などの業務を、PTA や地域団体からの協力を得て行えるのであれば開放可能」という市教育委員会の説明を受け、既に7月に入っていました。急遽各PTAは保護者の意見を聞いたり地域団体と協議したりなどして、開放実施の可否対応に追われました。監視員確保ができて実施に踏み切ったところがあった一方で、体制が整わず実施を見送ったところもありました。

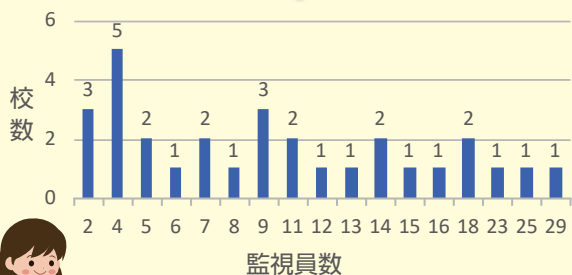
市P連が各PTAに依頼したプール開放についてのアンケート調査は、ほとんどのPTAから回答を得、さまざまな意見をいただくことができました。

市P連では、このアンケート結果を市に提示するとともに、「市長、教育長と語る会」などの場を活かして次年度以降の対応についての要請を行いました。市としては、運営方法について現在検討中で、皆さまの意見をできるだけ反映させながら、各PTAや地域団体の協力を得て開放実施の方向で検討しているとのことです。

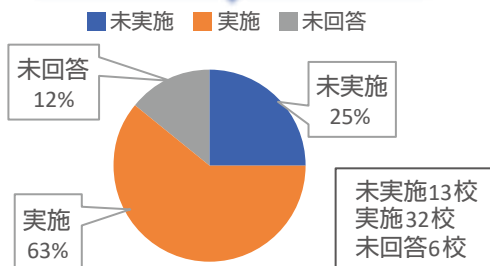
*「市長、教育長と語る会」での回答は、市P連ホームページをご覧ください。



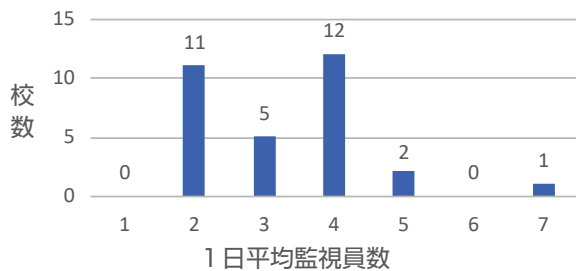
1校の登録監視員数



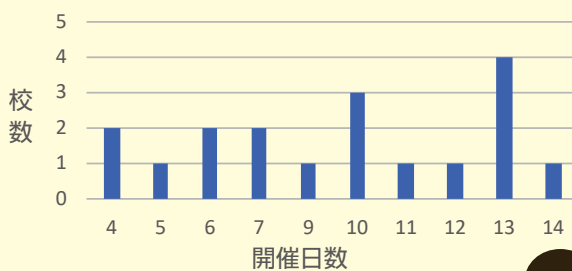
実施状況



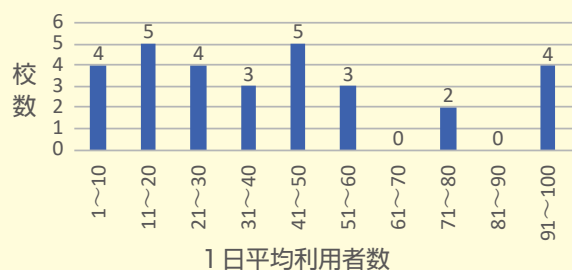
1日平均監視員数



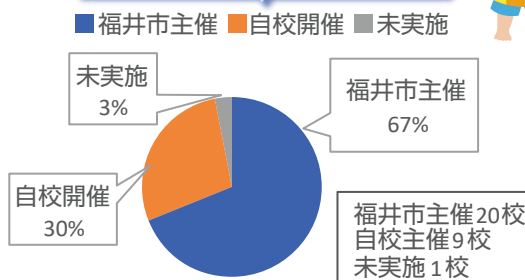
プール開放日数状況



1日平均利用者数

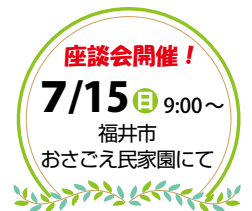


救命救急講習実施状況





福井市P連座談会 「市P連」って何?



福井市 PTA 連合会 (市P連) とは何をする組織なのか? いったい市P連って? と、疑問に思う方も少なくないのではないかと思います。そんな思いを抱きながら、今年度市P連の役員になられた方々にお集まりいただき、「市P連って何?」をテーマに、橋詰会長、矢谷総務委員長を囲んで、座談会を開催しました。会議の場とは違った、みなさんの本音のトークを聞くことができました。

司会: 皆さん暑い中お集まりいただきありがとうございます。今年度の市 PTA 連合会の活動が始まって少し経ちますが、今日はブロック長、女性代表の方に集まっていただき、市 PTA 連合会の活動について、ざっくばらんな意見交換ができればと思っています。

市P連の活動についての予備知識

司会: みなさん、市 PTA 連合会の役を受けるにあたり、どんな活動をするかご存知でしたか?



C村上: 市Pの役があたるからこれも断り切れず引き受けました。十分わかって引き受けたわけではないですね。

B三上: 私も何もわからないまま引受けましたね。

E杉原: 来年はブロックの事務局校なので、お手伝いをしてくださいと言われ、お手伝いならと思って引き受けたら女性代表で、毎月の理事会や市Pの行事にも参画することになるということを知り、**思っていたのはちょっと違っていましたね。**



オリエンテーションの役割

司会: みなさん、役を引き受けるにあたっていろいろありますね。市Pでは3月に新役員、新単P会長向けのオリエンテーションを開催していますが、説明会で市Pの組織や活動概略が理解できましたか?

D藤田: あの時は、「常任理事って? 理事って? 自分はどっちの?」って、そんなレベルでしたね。

A波多野: あの時点でようやく自分がどういうポジションなのか理解できた感じですね。

司会: 来年度のオリエンテーションに向けて、矢谷さん参考にになりますか?

矢谷: 自分が初めてオリエンテーションに参加したときは、資料渡されても何書いてあるかわからないし、正直「こんなもの必要なの?」って思いましたけど、今では**オリエンテーションは大事**だと思いますね。出来るだけ理解してもらえるよう工夫も必要でしょうね。



- Aブロック** 鈴木ブロック長 先輩から誘われて、最初はやる気がちょっと(笑)
- 波多野女性代表 PTAの仕事は次の役員を探すことから始まる!?
- Bブロック** 三上女性代表 投票の結果、役員当選となり・・・
- Cブロック** 村上女性代表 断り切れない性格から役員に。
- Dブロック** 福田ブロック長 友達に誘われた飲み会でPTA役員に勧誘され・・・
- 藤田女性代表 PTAは専業主婦の社会の窓。
- Eブロック** 杉原女性代表 役を引き受けると長くなる。
- 橋詰会長 子どもをめぐるあれやこれやに関わって超多忙!
- 矢谷総務委員長 役員はくじ引きで!と提案し、最初の当たりくじが!
- 司会:** 古石 **記録:** 山本・河崎(広報委員会)

研究大会について

司会: 今年度も市Pでは研究大会を開催する予定でいます。単Pには〇〇名参加をお願いしますと動員をかけています。今まで市Pの役員ではなかったみなさんからみて、研究大会についてのご意見をいただきたいのですが。市Pとしても、出来るだけ多くの方に参加してもらえようという、いろいろ考えているのですが、正直参加率も高くないのが現状です。橋詰会長は単Pのための市Pという思いが大変強いので、単Pのためになる研究大会になればと思うのですが、みなさんいかがですか?



D福田: 市Pに限らず、他のいろいろな組織も、「去年もやってるから今年もやる」っていうのが8割あって、残りの2割は「で、今年は何をする?」っていうのが実態だと思うんですよ。やめるより続ける方がいいとは思んですけど、一から改革っていうのは難しいでしょうね。



A鈴木: 僕も違う組織で「献血しましょう!」っていう活動しているんですけど、そういう市Pとは違った組織がやっていることを、上手く活用するっていうのもありだと思いますね。

A波多野: 私はPTAの役員は1年限りだと思っているんです。ただ続けるためだけの組織になっているのはどうかな?とも思うんです。そうすると、今年何をするって考えるのには時間が短すぎますよね。鈴木さんが言うように、他の組織の知恵や力を借りることも視野に入れてもいいと思いますね。



E杉原: どうしても単Pの中で役員の人しか行かないですよ。実際一般の人達にまで声掛けしていないですからね。

D藤田: 研究大会に来る人が役員だけだと、考え方とかも偏りますよね。**市Pの役割はいろいろな情報を単Pに下ろしていく**ということもあると思うんです。

C村上: 一般の会員の人が来ないなら、その人たち向けの研究大会にしても、あまり意味ないですよ。来るのが**役員なら、その人たちが何か持ち帰れるものにして、それを単Pの活動に活かしていけばいい**ことですから。

矢谷: どうせならみんなで楽しめるものがないかなぁとも思うんです。ただ、楽しむだけっていうのもどうか?とも思うし。



橋詰: 単Pから会費もらって運営している市Pですから、**単Pの活動が充実することが何より一番**だとは思っているんですよ。研究大会っていう名前も変えてもいいとは思っているんです。

司会: みなさんいろいろなお意見ありがとうございました。ここで何か結論が出るという訳ではありませんが、みなさんのお話を聞いていると、新しい考え方がたくさんあるなと思いました。これからの市P連の事業に新しい考え方を上手く取り入れていけたらなと思いました。

平成30年度 福井市PTA研究大会

～子供たちのために 学校・家庭・地域社会 より一層協力するために～

架け橋としてのPTA

平成31年1月26日(土) 福井県生活学習館ユニー・アイ福井

他校PTAと情報交換することで見えてくるものがある

時代の変化とともに、PTAをとりまく環境は大きく変わってきています。今まで当たり前だったことが、そうではない。この変化に単位PTAだけで考えず、他校PTAと話すことでヒントが見つかることも多いでしょう。福井市PTA連合会が学校間の架け橋となり、横のつながりを作ればと、この情報交換会を開催しました。

今後に向けてとても参考となる意見が多々紹介され、よい情報を共有できたとのお声も頂きました。詳しくは福井市PTA連合会ホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

おいしく学ぼう

もぐもぐ大作戦!

地元の食材を使って
野菜ソムリエ福岡繭香先生と
リゾットをつくりました



情報交換会 1

PTA運営、役員選出 個人情報保護法の対応

任意加入であるPTAにおいて、「これまで同様、当たり前全員加入してもらえるのか」「個人情報保護法への対応の必要性」「役員選出方法」と、それぞれのPTAの事情を踏まえながら議論がされました。役員募集のアンケートに「今すぐではなく何年生の頃なら可能」と記載するなど、今後に向けてヒントとなる話がありました。



情報交換会 2

PTA収益活動、親子の集い

PTAの収益活動として、どんな資源を、どう集め、収益をどう活用するのか、各校の実例が紹介されました。インクカートリッジ回収や不要となった制服をバザーに出す学校があるなど初めて知った方もおられ、PTA会費の値上げに悩む学校の話も大変参考になりました。親子の集いは多くの方にご参加いただけるよう、校内・校区内外どこで、平日・休日いつ開催すると良いか考えました。



ベルマーク、アルミ缶、資源回収、
どんな資源を集めているの？
収益はどう活用するの？
親子の集いの開催場所や日程は？



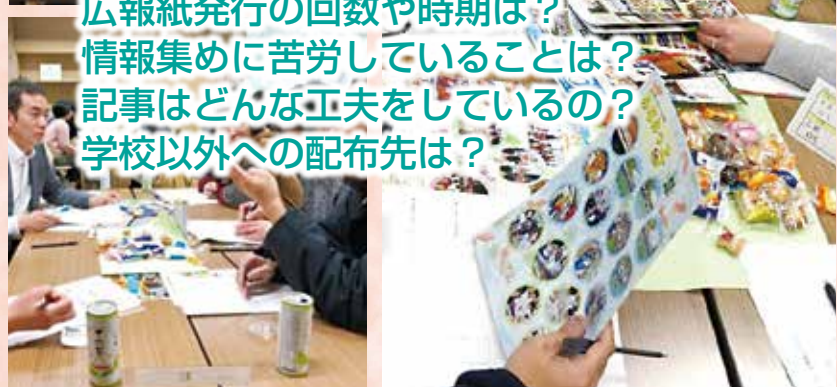
情報交換会 3

広報紙

2017年度、広報紙で文部科学大臣賞を受賞された円山小学校の広報担当の方から、お話を伺いました。その内容を参考に、各校ではどのように広報紙作成を行っているか情報交換を行いました。発行回数は年2～3回の学校が多数であることや、PTAの広報紙であるためPTA活動を載せると良い、各学校に合った紙面づくりが必要など、多くの情報や意見を聞くことが出来ました。



広報紙発行の回数や時期は？
情報集めに苦労していることは？
記事はどんな工夫をしているの？
学校以外への配布先は？



情報交換会 4

見守り活動 地域との連携行事

地域の方の協力による見守り隊の高齢化、学校独自で旗持ち当番を実施する難しさ、地域によっては高波・熊・猿などの自然に対する安全対策など、現状抱えている課題について情報交換を行いました。他の地域を知ること、自分たちの地域が地元愛に溢れていることに気づかされ、地域とのつながりの大切さを知りました。



登下校時の見守りや補導は？
地域のイベントに子供たちは
どのように関わっているの？



福井市PTAいきいき事業優秀校

福井市PTA連合会では、各単位PTAにおいて活動されている事業に対して奨励金をお渡しすることで、PTA活動の活発化を応援すると共に、その活動内容を他のPTAに紹介し、PTA活動の一助につなげていただくことを目的として、「福井市PTAいきいき事業奨励金」制度を設けております。

福井大学教育学部 附属義務教育学校 後期課程 育友会

「21世紀夢講座」

育友会（PTA）が選定した外部講師9人を招いて中学3年生に特別授業を開催。ヨガや料理、IT技術やドローン技術など内容は多岐にわたりました。

麻生津幼・小学校PTA

「地域いきいき餅つき大会」

未就学児童・児童・先生保護者・地域団体が参加して、地域世代間交流と文化伝承を目的に、みんなで餅つき！いつもとは違った先生の一面も見え、児童の学校生活や家庭生活の様子について交流の場となっています。

森田中学校PTA

「マイ弁当デイ」

「マイ弁当デイ」に、生徒（親子）で作ったお弁当を広げて写真撮影！おかずや野菜の名前などを使って「あいいうえお作文」を考えられます。全てのお弁当の写真と作文を飾り付けて掲示しました。

棗小中学校PTCA

「未来に広がる地域の学校」

地区体育大会・らっきょう切り・奉仕作業・資源回収を実施。学校の伝統行事「らっきょう切り」は、地域伝統産業を体験することで、地域の未来を考える機会となりました。

これからも「架け橋」となるように

今年度は活動スローガンを、『「架け橋としてのPTA」～子どもたちのために学校・家庭・地域社会がより一層連携するために～』と掲げ活動してまいりました。時の経つのは早いもので、活動をスタートさせてまもなく一年となりますが、皆様のご期待にお応えするにはまだまだ力不足と感じています。

また、今年度は夏休みのプール開放への対応に、多くの単位PTAの皆様がご尽力下さいましたことに深く感謝申し上げます。

現在、単位PTA様がより一層活発な活動をしていただけるよう、市P連では情報発信や情報交換ができる場の提供へと活動をシフトしています。講演会を聞く従来の研究大会の概念を崩し、今年度の研究大会では情報交換会のみで徹するという新しい試みにもチャレンジしました。単位PTA様と市P連がより近い存在になれるよう、また皆様の活動の知恵袋になれるよう、情報交換の場の提供や、ホームページや広報紙での情報発信に、力を入れていきたいと思っております。皆様におかれましても、気軽に市P連へご連絡頂ければ幸いです。今後とも市P連への温かいご理解、ご協力、ご支援をお願い致します。

福井市PTA連合会 会長 橋詰 直起

1年間 皆さまのご協力ご支援ありがとうございました

